

平成 28 年度市町村がん検診担当者会議の開催結果について

「市町村がん検診担当者会議開催要領」に基づき、平成 28 年度に県内市町村がん検診担当者を参集し開催した担当者会議の結果を取りまとめた。なお、以前は保健福祉事務所ごとに開催していたが、昨年に引き続き平成 28 年度も保健・疾病対策課が全県一斉で開催した。また、今回は市町村の特定健診担当者と検診実施機関の担当者も出席可能としたところ、多数の参加者を得た。

1 会議の開催実績

- ・日時・場所： 平成 29 年 1 月 13 日（金）午後 1 時 30 分から
長野県総合教育センター 第 1 研修室（塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4）
- ・出席者： 市町村 9 3 名、保健福祉事務所 1 1 名、検診実施機関 1 9 名

2 開催結果の概要について

- (1) がん検診及び特定健診の受診率向上対策についての講演
 - ・株式会社キャンサーズキャン（厚生労働省の委託を受け、受診率向上ハンドブック等を作成した企業）による講演（事例共有等のグループワーク含む）
- (2) 市町村がん検診における精度管理について
 - ・チェックリスト及びプロセス指標の説明
 - ・がん検診実施状況調査（調査対象年度：平成 27 年度）の回答方法について説明
- (3) 県又は他機関への要望・意見等

質問・意見	回答
1 内視鏡検診について 県内市町村や他都道府県の動向を教えてください。	平成 28 年 12 月 22 日付通知 28 保疾第 938 号において、平成 28 年度長野県がん検診検討委員会の協議内容について情報提供を行っておりますが、この中の会議記録及び資料 5（H28.5 月に実施した県内市町村の胃内視鏡検査に関する調査結果）をご参考にしていただくようお願いします。
2 胃内視鏡の県内の動向について	
3 胃検診について（内視鏡導入）詳細を知りたい。がん検診の対象年齢の詳細について知りたい。	
4 胃カメラによる胃検診について ・受け皿がないため、広く普及する見込みがないと思われる。 ・ドックでの胃カメラ実施分を胃検診としてよいのか。（指針による基準は満たしていない）	市町村が実施している人間ドックにおける胃内視鏡検診については、指針の基準を満たすかどうかにかかわらず、地域保健・健康増進事業報告等の調査において胃検診として報告していただいて構いません。その場合は、他の調査等においても回答の統一をお願いします。

5	相互乗り入れの結果通知・事務処理（窓口負担金の支払い含む）等について、県内で統一・簡素化する方向で検討頂きたい。	相互乗り入れ制度については、実施要綱において事務処理を定めています。実施要綱の2（3）において、受診者負担額の受診者への請求は市町村が別に行うものとし、協力医療機関においては受診者負担額の徴収は行わないとしています。また、4（3）において、協力医療機関は、検診の結果を受診者の住所地の市町村に通知するものと定められています。
6	がん検診推進事業の今後の動向を伺いたいです。また、今年度実施の信州クーポンを使った乳・子宮頸がん検診の相互乗り入れ制度はH29年度も実施するのでしょうか。	国庫補助事業（新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業）については、国からの情報提供の都度、メールにてお伝えしているところです。H29年度事業の詳細については、H29.2月頃に国から示される予定です。
7	子宮がん・乳がん検診相互乗り入れを実施してみたの状況を教えていただけるとありがたいです。（来年度も実施するかどうか等も含め）	乳がん・子宮頸がん検診の相互乗り入れ制度につきましては、H27年度は55市町村、H28年度は51市町村が契約を行っていますが、制度の個々の利用状況については現在県では把握しておりません。 なお、H29年度についても本制度を実施するよう、医師会と協議を行う予定です。
8	委託医療機関で、胃内視鏡単独検診や人間ドックでがん検診をおこなっています。当日生検となった方について「生検結果は医療部分であるので結果は市町村には伝えない」と委託医療機関から言われています。個人情報保護法の例外事項ではありますが委託医療機関に無理にはいえません。（現在は本人に結果をお聞きしていますが手間がかかります）	H29.1月に施行した長野県がん検診実施要領では、精密検査結果の返送についても記載があります。県医師会を通じて、各医療機関に実施要領の周知を図る予定です。 なお、平成29年度地域保健・健康増進事業報告においては、胃内視鏡検診の精密検査結果についても報告表が追加されました。ここでの報告が必要な事項については、結果を市町村に返送する体制作りについて、医療機関と協議を行っていただきたいと思ひます。
9	「がん対策に関する行政評価・監視について」での他県の事例によると、滋賀県では協議会におけるプロセス指標の評価結果のうち、精検受診率については市町村、要精検率及び陽性反応的中率については各検診実施機関に指導を行うなど、内容に応じて指導先を区分しており、市町村及び検診実施機関はそれぞれの役割に応じた改善の取組を実施しているとされていました。長野県では、3つの検診機関にはそれぞれ指導がされていると思ひますが、その他の医療機関に対しては、どのような指導・助言がされていくのでしょうか。地元の病院に集団健診を依頼していますが、精度管理の意識が全く感じられません。その医療機関に検診を委託しているのは当町だ	医療機関に対する精度管理については、チェックリストの改定により個別検診実施機関への対応が可能になったこともあり、今後の課題として認識しています。 H29.1月に施行した長野県がん検診実施要領には、精度管理に関する事項も含まれているので、まずは各医療機関に実施要領の周知を図りたいと思ひます。

けではないので、市町村からではなく県から実態把握・指導・助言・情報提供をお願いします。	
---	--

3 会議に関する意向調査結果について（平成 29 年 2 月調査）

(1) 回答があったのは、77市町村中56市町村だった。

(2) 開催規模について

県全域を対象に開催	県保健福祉事務所の管轄毎に開催	県全域及び県保健福祉事務所の管轄毎に開催	その他
27 (48.2%)	14 (25.0%)	13 (23.2%)	2 (3.6%)

その他の回答

- ・ 東北南信の範囲で開催
- ・ 保健所単位の場合県の担当者の負担は大きいですが、より濃厚な会議にはなると思う
- ・ 内容によるため、開催者が指定してほしい

(3) 開催頻度について

年1回	年2回	その他
41 (73.2%)	10 (17.9%)	5 (8.9%)

その他の回答

- ・ 年1回をベースに、必要時開催する形で良い
- ・ 制度改正で事業内容が変更になる等、県から説明が必要になった時に適宜開催
- ・ 国が定めるがん検診の指針、精度管理、がん検診実施状況調査等の報告における変更事項が発生した際、文書だけでなく説明していただけるとわかりやすいです。その時に併せて、他市町村と情報交換の場として研修会や意見交換できる機会を設けてもらえるとありがたいです。

(4) 内容について

希望度が高かった内容は、県からの説明、講演、市町村の事例共有だった。

(内容/順位)	1	2	3	4	5	6
講演	18	10	12	7	3	0
ワークショップ	1	12	6	16	7	1
DVD上映	2	3	7	7	23	0
市町村の事例共有	13	17	14	6	2	0
県からの説明	22	11	12	6	4	0
その他	0	1	0	1	0	5

その他の回答

- ・ 各市町村のみでは進んでいかない話（医師会や検査機関が関わる話等）も多く、他地域の情報や、工夫した事例等を教えていただきたい
- ・ 先進地・モデル地域の事例発表
- ・ 制度についての説明があるとよい（法改正時など）
- ・ 各種報告書がどのように活用されているのか知りたい